

達成度：H26.3.31 の自己評価

- 5 目標を完全に達成した。
- 4 目標を概ね達成した。
- 3 目標を一部達成した。
- 2 目標をほとんど達成できなかった。
- 1 目標をまったく達成できなかった。

健康福祉課の目標（平成 25 年度）自己評価書

健康福祉課長 仲田 義秀

個別事業とその目標	達成度	目標達成の効果又は達成できなかった理由等
<p>1 第 3 期酒々井町障害福祉計画の推進(福祉班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同計画(計画期間 平成 24 年度～平成 26 年度)を着実に推進し、障害者の福祉を推進します。 	4	<p>地域自立支援協議会の活動を積極的に推進した結果、障害者の地域での生活支援施策の充実につながったものと考えます。</p> <p>相談件数(延べ) 1, 186回 実人員 223人 (身体障害 40人、知的障害 45人、精神障害 86人、発達障害 5人、その他 57人)</p>
<p>2 民生委員及び児童委員の活動支援(福祉班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域福祉の推進において、民生委員及び児童委員は中心的な担い手として、以前にも増してその役割が期待されていることから、その活動を支援します。 ・具体的には、8月を除く毎月第三水曜日に定例会を開催し、事例研究に積極的に取り組みます。また、県民児協の研修会等に参加し、相談技法等の向上に努めます。 ・今年度は、民生児童委員の任期替えの年度となるため、自治会や民生児童委員と連携して新任委員の確保に努めます。 	5	<p>8月を除く毎月第三水曜日に定例会を開催し、事例研究や意見交換会を行いました。</p> <p>また、県民児協主催の研修会に積極的に参加し相談技法等の向上に努めました。</p>
<p>3 地域福祉計画の推進(福祉班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 25 年度～平成 29 年度を計画期間とした同計画を推進し、地域福祉を推進します。 	5	<p>社会福祉協議会と連携し、地域福祉フォーラムを開催するなど地域福祉計画・地域福祉活動計画を推進しました。</p>

<p>4 「もしも・・・」の時の安全安心の確保(福祉班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・救急医療情報キットの配付や家具転倒防止器具取付費補助金の対象を拡大し、「もしも・・・」の時の高齢者等の一層の安全確保を推進します。 	5	<p>救急医療情報キットの配付と家具転倒防止器具取付費補助金の対象を拡大しました。</p> <p>救急医療情報キット： 8件 家具転倒防止取付費補助金：3件</p>
<p>5 第5期高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画の推進(介護保険班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・同計画(計画期間 平成24年度～平成26年度)を着実に推進し、高齢者の福祉を推進します。 ・次期計画の円滑な策定につなげていくため、地域包括支援センターとの連携を図り、地域の課題やニーズに関する情報の蓄積に努めます。 	5	<p>同計画に基づき、事業を実施した結果、介護保険の給付費については、施設サービス給付費411,149千円(前年度比15.2%増)、居宅サービス給付費464,566千円(前年度比1.6%増)となりました。給付費の増加には様々な要因がありますが、計画の推計内で適切に事業の実施が図られたものと考えます。</p>
<p>6 地域支援事業の推進(介護保険班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の皆さんが住み慣れた地域で安心して暮らし続けられるよう、包括的支援事業を推進する上では、地域包括支援センターを核に、介護・福祉・医療・健康など様々な面から総合的に支えていきます。 ・介護予防事業では、元気な高齢者の社会参加を促し、介護予防及び地域の活性化につなげるため、既に創設した「介護支援ボランティア制度」を着実に推進します。 	5	<p>相談件数301件、介護予防契約延べ1,514人、包括だより発行4回、このほか、介護予防サークル「月曜会」を36回開催し、延べ743人が参加しました。また、「在宅介護かけはしの会」を年5回実施し、認知症問題をはじめ、参加者のニーズに沿ったテーマを取り上げ、住民への情報提供をするとともに、住民との交流を図りました。</p> <p>また、平成25年度スタートした介護支援ボランティア制度では、26名の方がボランティア登録し、町内の4施設において各種活動を行いました。</p>
<p>7 介護保険事業の確実な取り組み(介護保険班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・要介護等認定事業及び給付事業を確実に進めます。 ・とりわけ、末期がん患者が病院を退院して自宅で療養することとなった場合、すみ 	5	<p>介護認定審査会を月2回開催し、要介護度判定を行った結果、認定結果は588件となり、適切なサービスの提供につなげることができました。</p>

<p>やかに、かつ円滑な介護サービスの利用につながるよう、すばやい認定に努めます。</p>		<p>末期がん患者については、すみやかに認定し、適切なサービスの提供につなげました。</p>						
<p>8 介護予防・日常生活支援総合事業の実施（介護保険班）</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 24 年度より創設された「介護予防・日常生活総合支援事業」は、地域の実情に応じて市町村判断で実施する任意事業ですが、平成 27 年度以降に高齢化のピークに突入することが予想されることから、住民のニーズの把握に努めるとともに、周辺自治体とも情報の共有を図り、実施の有無について積極的に検討します。 	<p>3</p>	<p>地域包括支援センターを中心に、総合相談事業や介護予防事業及び地域におけるネットワークの構築を図るなかで、平成 27 年度からスタートする第 6 期計画の策定を念頭において地域の課題や住民のニーズの把握に努めました。</p>						
<p>9 予防接種事業の推進（地域保健班）</p> <ul style="list-style-type: none"> ヒブ・小児用肺炎球菌・子宮頸がん予防接種について、引き続き対象者への啓発を行い、接種率の向上を図ります。 平成 25 年度から小学 6 年生を対象としたジフテリア破傷風予防接種が、個別接種に移行するため、円滑に実施できるようにするとともに、接種勧奨に努めます。 	<p>4</p>	<ul style="list-style-type: none"> ヒブ 対象者 130 人 接種者延べ 601 人 小児用肺炎球菌 対象者 130 人 接種者延べ 582 人 子宮頸がん 対象者(中学 1 先生)92 人 接種者延べ 51 人 子宮頸がん予防接種は、現在、副反応の問題から積極的勧奨を差し控えているため接種者は少ない結果となりました。 ジフテリア破傷風 対象者 205 人 接種者 107 人 接種率 52.2% 平成 25 年度から個別接種となり、接種率が減少してしまいました。平成 26 年度は接種勧奨に努めます。 						
<p>10 健康づくり施策（増進事業）の推進（地域保健班）</p> <p>がん検診</p> <ul style="list-style-type: none"> 若年層のがん検診の受診率の向上を図るために、乳がん、子宮がん、大腸がんの無料検診を年齢別に継続して実施します。また、平成 25 年度は子宮がん、大腸がん検診については対象者へ事前に個別通知し、さらに受診率の向上に努めます。 <table border="0" style="margin-left: 40px;"> <tr> <td>乳がん検診</td> <td>平成 23 年度 19.9%</td> <td>平成 24 年度 20.6%</td> </tr> <tr> <td>子宮がん検診</td> <td>平成 23 年度 22.4%</td> <td>平成 24 年度 22.6%</td> </tr> </table>	乳がん検診	平成 23 年度 19.9%	平成 24 年度 20.6%	子宮がん検診	平成 23 年度 22.4%	平成 24 年度 22.6%	<p>4</p>	<ul style="list-style-type: none"> がん検診推進事業対象者に対し、乳がん、子宮頸がん、大腸がんの無料検診を実施しました。 また、子宮頸がん検診について、20 歳、25 歳、30 歳 35 歳の対象者に対し、お知らせを送付し受診率が増加しました。 乳がん検診 受診率 20.9% （前年比+0.3%） 子宮頸がん検診 受診率 23.1% （前年比+0.5%）
乳がん検診	平成 23 年度 19.9%	平成 24 年度 20.6%						
子宮がん検診	平成 23 年度 22.4%	平成 24 年度 22.6%						

<p>大腸がん検診 平成 23 年度 27.7% 平成 24 年度 29.4%</p> <ul style="list-style-type: none"> 結核・肺がん、大腸がん、胃がん検診の実施についてチラシの全戸配布、広報および区切り年齢の方に個別通知を行うことでさらなる周知を図ります。平成 25 年度からは新たな取り組みとして 4 月 1 日から申し込みを開始し、あらゆる機会をとらえ P R を行い受診率が向上するよう努めます。 <p>11 母子保健事業の充実（地域保健班）</p> <p>(1) 産後うつへの対応</p> <ul style="list-style-type: none"> 新生児訪問指導時および 4 か月児乳児相談時に SDS（自己記載式抑うつ評価）を実施し、産後うつ早期発見や支援に努めます。 <p>(2) 2 歳児歯科健康診査の実施</p> <ul style="list-style-type: none"> 幼児期のむし歯予防を推進するため、2 歳児を対象として歯科健康診査を年間 4 回実施します。同時にブラッシング指導やフッ化物歯面塗布を実施し、歯の健康づくりに取り組みます。 <p>(3) 3 歳児健康診査の受診率の向上</p> <ul style="list-style-type: none"> 本健康診査は、発育期の幼児の健康状態や母親等の育児不安を取り除くことを目的としており、就学前の最後の健康診査であるため、継続して受診率の向上を図り、病気や障害の早期発見に努めます。 <p>平成 23 年度 91.7%、平成 24 年度 79.9%</p> <p>(4) ことばの教室</p> <ul style="list-style-type: none"> 実施回数を 20 回から 30 回に増やし、より指導を受けやすくしていきます。 	<p>4</p> <p>4</p> <p>4</p> <p>4</p>	<p>大腸がん検診 受診率 29.3%（前年比-0.1%）</p> <ul style="list-style-type: none"> がん検診についてチラシの回覧、区切り年齢の方への個別通知等を実施しました。また、平成 25 年度より新たに年間を通して申し込みを受け付けたことにより受診率が若干増加しました。 <ul style="list-style-type: none"> 新生児訪問時および 4 ヶ月乳児相談時に SDS（自己記載式抑うつ評価）を実施し、産後うつ早期発見に努めました。 <p>新生児訪問時実施者数 116 人（うち要支援者 4 人） 乳児相談時実施者数 78 人（SDS 点数高値数 3 人）</p> <p>対象者 153 人、受診者 105 人、受診率 68.6% 希望者に 93 人に対し、フッ化物塗布を実施 次年度は健診の流れがスムーズに実施できるよう体制を整えていきます。また、受診率の向上に努めます。</p> <p>平成 24 年度 79.9% 平成 25 年度 90.9% 未受診者に対して、ハガキや電話にて受診勧奨を行った結果、受診率が向上しました。</p> <p>29 回開催 参加人数 実 11 人 延べ 101 人 就学となるお子さんに関しては学校へ引き継ぎました。</p>
--	-------------------------------------	---

<p>12 特定健康診査・特定保健指導（地域保健班）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保健指導の対象であって利用しない方に対し、電話または手紙等で利用の勧奨や利用しない理由の把握を行い、実施率の向上に努めます。ポピュレーションアプローチとして、運動教室以外の教室も開催し、メタボリックシンドロームの予防に努めます。 <p>13 小児生活習慣病の予防（健康づくり推進班）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども達が生活習慣病について知り自ら予防することができるように、小学校と連携を図り、小学校 5 年生を対象に健康推進員と協働で「いきいきしすいっこ教室」を開催します。 <p>14 食育の推進（健康づくり推進班）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭での子供の健康づくりのための食育を推進するため、幼児健診での栄養指導のほか、健康推進員と協働で「親子ヘルシー教室」、「旬の親子ふれあい食育教室」を、また家庭教育学級と連携し就学前の保護者を対象とした「食育ママ講習会」を実施します。 また、成人の健康づくりのための食育を学ぶ「大人の食育教室」、高齢者の栄養状態の改善・向上のための食育を学ぶ「ワイワイみんなで元気ごはん」を実施します。 <p>15 歯科保健計画（仮）の策定（健康づくり推進班）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「酒々井町民の歯と口腔の健康づくり推進条例」に基づき、歯と口腔の健康づくりを推進するため、策定委員会を設けて歯科保健計画の策定に取り組みます。 	<p>4</p> <p>5</p> <p>4</p> <p>5</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・運動教室（特定保健指導）全 8 回×2 参加者数 実40人延244人 体重・腹囲の減少率81.5% ・運動教室（ポピュレーションアプローチ）全 4 回 参加者数 実 27 人 延 61 人 ・結果説明会 27 回 参加者数 141 人（参加率 44.3%） 対象者に電話勧奨を実施した結果、保健指導実施率が H24 35.2%から H25 47.4%に増加し、さらに欠席者の理由について把握することができました。 ・酒々井小 88 人 大室台小 104 人 計 192 人 保健師による講義、健康推進員による寸劇を実施しました。 健康づくりのための食育を重点的に実施しました。 <ul style="list-style-type: none"> ・親子ヘルシー教室 2 回実施 参加者数 54 人 ・食育ママ講習会 1 回実施 参加者数 12 人 ・旬の親子ふれあい食育教室 1 回実施 参加者数 26 人 ・親子料理教室 1 回実施 参加者数 27 人 ・大人の食育教室 3 回実施 参加者数 52 人 酒々井町歯科保健計画策定委員会を設置し、平成 26 年 3 月「酒々井町歯科保健計画」を策定しました。 副題「歯をみがき 心や体 ピカピカに」は町民より公募し、決定しました。
--	-------------------------------------	---

<p>16 介護予防事業の推進（健康づくり推進班）</p> <p>(1) 出前健康講座</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本講座は、地域へ講座を出前し、身近な所でも健康教育が受けられるようにし、高齢期においても地域で元気に生活できるように努めます。また、介護予防事業の参加者に呼びかけ、地域での活動ができるように支援します。 <p>(2) 介護予防事業の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の興味を引くような講座を開催し、参加者を増やすとともに、教室参加者に対し介護保険との関わりを説明することにより一層の意識の向上を目指します。 <p>(3) 二次予防事業対象への支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・75歳から79歳の二次予防事業対象者について保健師が電話相談や訪問を行うことにより高齢期の不安を解消し、より自立した生活を維持継続できるように支援します。 	<p>3</p> <p>4</p> <p>3</p>	<p>3回実施 延べ 43人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康推進員の協力を得て実施しました。 <p>介護予防のためのチェックリストを実施し、併せて健康づくり講座を実施し、介護予防のための知識、技術の向上を目指すとともに介護保険についての知識の啓発向上を図りました。</p> <p>75～79歳の二次予防事業対象者について地区担当保健師が把握し、検診等でお話しを伺うなど支援をしました。</p>
---	----------------------------	--

<p>チャレンジ目標</p> <p>【福祉班】</p> <p>1 支え合いで助けあう仕組みの推進(福祉班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時の避難支援や日頃からの見守りなど地域の中で助けあう体制づくりを自治会等の連携により推進します。 ・災害時要援護者名簿登録制度を推進していくため、新たな登録者を回覧等で募集するとともに、平成24年度登録情報の更新も併せて行います。 <p>【福祉班】</p> <p>2 熱中症予防対策の推進(福祉班)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近年の猛暑による熱中症の予防対策として75歳以上の方を対象に、平成25年度より冷感スカーフと予防パンフレットを配布し熱中症予防意識の高揚を図ります。 <p>【介護保険班】</p> <p>3 認知症支援策の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・認知症高齢者が住み慣れた地域で安心して暮らせるように、本人や家族を見守り、支援するサービス基盤の充実を図るため、認知症サポーター養成講座等を積極的に活用し、認知症に関する知識の普及・啓発に取り組みます。 <p>【地域保健班】</p> <p>4 がん検診の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国が目標とするがん検診受診率50%に近づけるため申込み受付を延長し、広報紙、回覧等により住民への周知、啓発に努めます。また、乳がん検診・子宮頸がん検診・大腸がん検診の年齢該当者に無料クーポン券を配布し受診率の向上を図ります。また、初めて対象となる40歳の方に、がん検診のお知らせを送付し、PRを図ります。 	<p>4</p> <p>4</p> <p>5</p> <p>5</p>	<p>町で情報を持つ75歳以上の高齢者単身世帯及び75歳以上の高齢者だけの世帯で、一方が介護認定を受けている世帯に対し民生児童委員の協力を得て、訪問により、災害時要援護者名簿登録制度への登録を図り、250人の登録がありました。自治会との連携が今後の課題となります。</p> <p>冷感スカーフを495人に配付し、熱中症予防をアピールしました。</p> <p>認知症サポーター養成講座を一般住民対象に2回、職員対象に8回開催し延べ208人のサポーターを養成しました。</p> <p>がん検診推進事業の対象者（乳がん、子宮頸がん、大腸がん検診）に対し、無料クーポン券未利用者に対し、ハガキによる再勧奨を行いました。</p> <table border="0"> <tr> <td>無料クーポン受診率</td> <td>乳がん検診</td> <td>29.0%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>子宮頸がん</td> <td>24.6%</td> </tr> <tr> <td></td> <td>大腸がん</td> <td>16.0%</td> </tr> </table>	無料クーポン受診率	乳がん検診	29.0%		子宮頸がん	24.6%		大腸がん	16.0%
無料クーポン受診率	乳がん検診	29.0%									
	子宮頸がん	24.6%									
	大腸がん	16.0%									

<p>・歯科衛生士が、保育園および小中学校の歯科検診やブラッシング指導に出向き、歯科衛生事業の充実に努めます。</p> <p>【健康づくり推進班】</p> <p>5 介護予防教室の充実</p> <p>・介護予防教室では、高齢者の健康づくりと食育を推進することを目的とした教室を新規に開催します。また、自治体・各種サークル・健康推進員に働きかけ出前講座を開催し高齢期に必要な情報を提供していきます。</p>	<p>5</p> <p>5</p>	<p>保育園および小中学校の歯科検診に出向き、小中学校秋の歯科管理健診では C0-G0 児童に個別でブラッシング指導を実施しました。</p> <p>新規事業として保育園で「なかよしはみがき教室」を年2回開催し、年長児 31 人にブラッシング指導を実施しました。また、小学4年生 108 人に対し、集団のブラッシング指導を実施しました。</p> <p>出前講座 中川 15 人 ふじき野 18 人 飯積 10 人</p> <p>健康相談と同時に高齢期の栄養について指導を行いました。講座の初めに血圧測定を行い、健康への意識を高めました。また、2 地区で健康推進員の協力を得て実施しました。</p>
--	-------------------	---